

# ウンカ類情報第3号

平成27年 8月 3日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 1 セジロウンカ

7月下旬の本田調査では、発生ほ場率は47.2%（平年58.5%）とやや低く、発生量は平年並の状況です（表1）。

なお、県内各地の予察灯における誘殺数は、平年よりやや少なく推移しています（表2）。

表1 セジロウンカの本田生息状況（平成27年7月下旬調査 単位：頭）

調査方法	成虫	幼虫	計
粘着板による10株の払い落とし	0.33 (0.50)	1.53 (2.12)	1.86 (2.63)
捕虫網による20回すくい取り	0.42 (1.56)	0.81 (2.27)	1.24 (3.83)

( ) 内は、平年値（平成17～26年の平均）

表2 セジロウンカの予察灯における誘殺数（平成27年）

月	半旬	長久手市	大口町	弥富市	東浦町	西尾市	豊川市
6月	第5半旬	0 (0.1)	0 (1.6)	0 (0)	0 (0.7)	0 (0.1)	1 (0.1)
	第6半旬	0 (1.2)	0 (5.8)	0 (0)	0 (0)	0 (4.0)	0 (0.3)
7月	第1半旬	1 (7.5)	0 (8.5)	0 (0)	1 (0)	0 (1.3)	0 (2.2)
	第2半旬	0 (6.5)	0 (6.4)	0 (0)	0 (0.6)	0 (1.5)	0 (1.9)
	第3半旬	0 (8.5)	0 (11.5)	0 (0.1)	0 (1.0)	0 (1.3)	0 (2.8)
	第4半旬	0 (7.1)	(6.4)	0 (0.4)	(1.1)	0 (0.8)	3 (2.5)
	第5半旬	1 (49.7)	(21.9)	0 (0.1)	(1.2)	(2.7)	(7.1)
	第6半旬	(26.1)	(46.1)	(0)	(2.1)	(2.4)	(6.4)

( ) 内は、平年値（平成17～26年の平均）

## 2 トビイロウンカ

7月上旬の本田調査で、飛来成虫の生息を認めましたが、7月下旬の本田調査では、成虫、幼虫とも生息を認めていません。なお、予察灯には誘殺されていません。

また、他県では、鹿児島県の予察灯で7月上旬に数十頭誘殺された後は、数頭ずつ誘殺されている程度です。

しかし、今後の気象条件によっては、多飛来して、普通期栽培では坪枯れ等の被害が発生する可能性があります。予察灯の誘殺状況など今後の情報に注意してください。